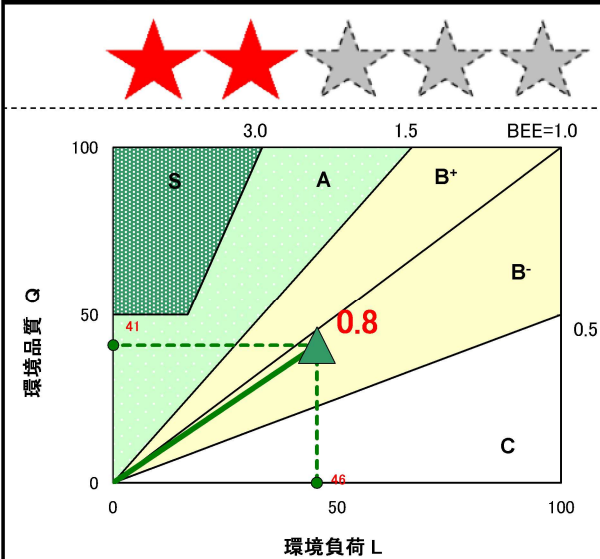


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)島崎1丁目有料老人ホーム	階数	地上5階、地下0階	
建設地	熊本市中央区島崎1丁目745	構造	RC造	
用途地域等	1種住居	平均居住人員	120人	
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2027年7月 予定	評価の実施日	2026年3月14日	
敷地面積	1,814 m ²	作成者	STUDIO nob	
建築面積	958 m ²	確認日	2026年3月14日	
延床面積	3,177 m ²	確認者	STUDIO nob	

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.8

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

84%

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

75

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

評価点

80.5

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

67.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

77.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

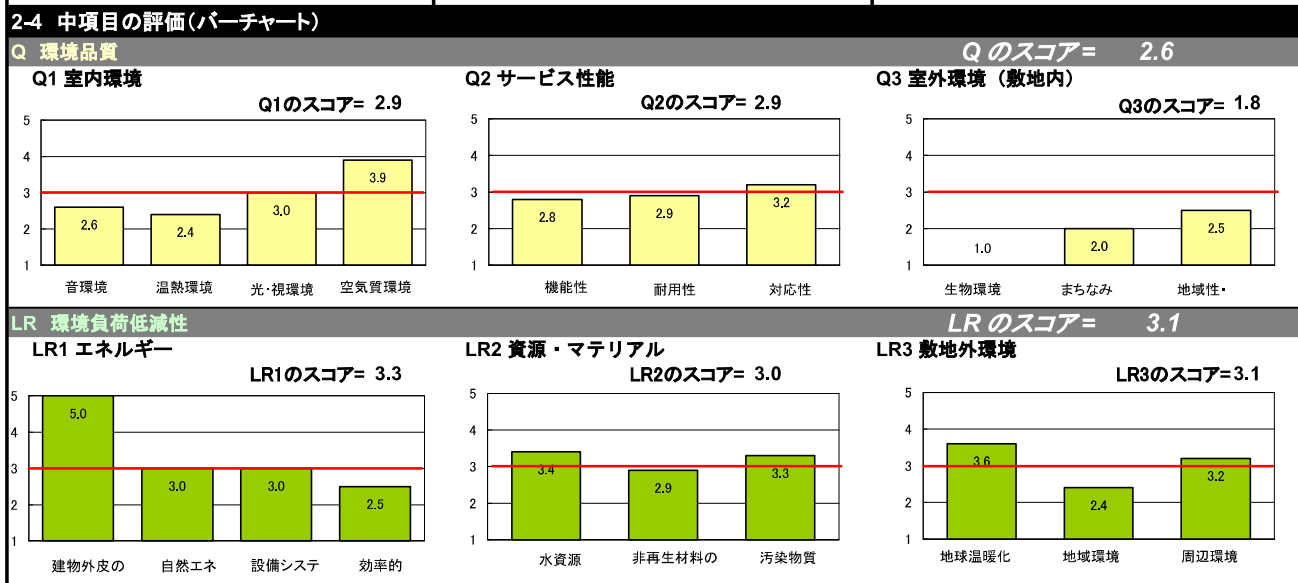
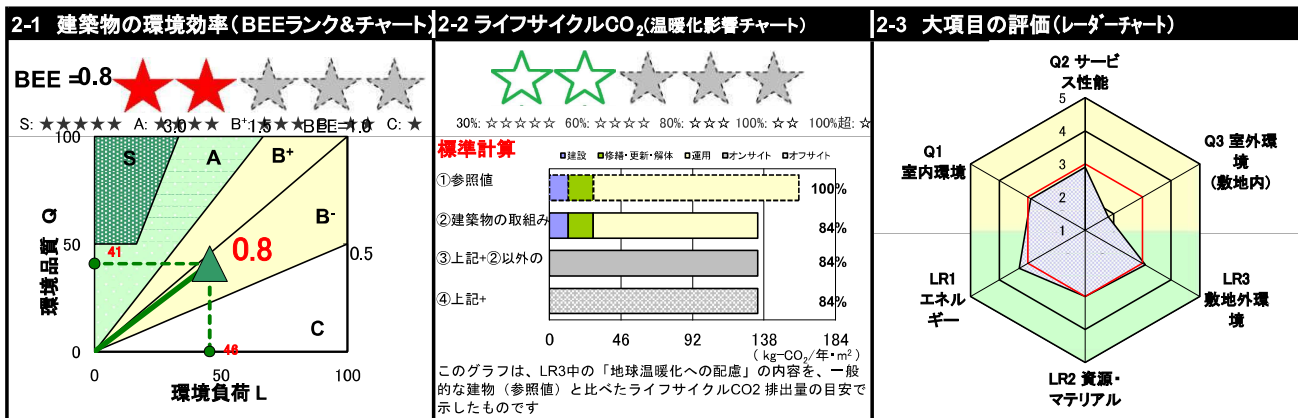
69.7

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)島崎1丁目有料老人ホーム	階数	地上5階、地下0階
建設地	熊本市中央区島崎1丁目745	構造	RC造
用途地域等	1種住居	平均居住人員	120人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年7月 予定	評価の実施日	2026年3月14日
敷地面積	1,814 m ²	作成者	STUDIO nob
建築面積	958 m ²	確認日	2026年3月14日
延床面積	3,177 m ²	確認者	STUDIO nob



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				2.6	0.15	3.0	1.00		2.6
1.1 室内騒音レベル		(共用部)相談室40dB(A) (住居部)居室35dB(A)		4.0	0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音				1.0	0.40	1.0	0.40		
1 開口部遮音性能				1.0	0.40	1.0	0.50		
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	1.0	0.50		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.4	0.35	2.6	1.00		2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.4	0.50		
1 室温				3.0	0.50	3.0	0.57		
2 外皮性能		(住居部)窓SC:0.5、窓U:2.67、外皮U:0.951		-	-	4.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.50		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.6	1.00		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.43	4.2	0.30		
1 昼光率		(住居部)昼光率1.25%≤2.01%		-	-	5.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				-	-	4.0	0.30		
1 昼光制御		(住居部)庇、カーテンにより制御		-	-	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.21	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.36	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.9	0.25	3.7	1.00		3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		平均値(1/15以上)			-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙 喫煙室なし		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.9
1 機能性				2.8	0.40	4.0	1.00		2.8
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		居室10㎡/1人以上			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化基準を満足		4.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		居室天井高2.5m			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		①②③⑥⑩⑪		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種の2種類以上にC以上を使用		4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.6	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	2.2	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	比率(共用部)0.21 (住居部)0.24、0.29		4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.8	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	OA707、PS内配管、ジブトン(自階天井)		4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	コガシ配線、ケーブルラック、OA707、ジブトン(自階天井)		5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	コガシ配線、ケーブルラック、OA707、ジブトン(自階天井)		5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	中央式空調換気設備を持たない		4.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI:0.75		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] : 0.80		3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	自動水栓、節水柄便器等(グリーン購入法リスト)		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGSD下地、OA707、コガシ配線等		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン発泡剤使用		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量86%		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策、広告照明のガイドラインを満たす。		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

建物名称 (仮称)島崎1丁目有料老人ホーム

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				80.5	0.40	32.20
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.06			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.17			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.22			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.0	0.33			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.11			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69.7	0.20	13.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.1	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

■ 環境関連の配慮事項

(仮称)島崎1丁目有料老人ホーム

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	道路面からの圧迫感に配慮し、建物をセットバックして配置した。中庭に緑地を設けた。	
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・F☆☆☆☆建材を使用。 ・全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮。 	
Q2 サービス性能	各階同じ間取りで設備システムのメンテナンスに配慮した。	
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地内に緑地を設け、温熱環境に配慮した。	
LR1 エネルギー	一部にLow-Eガラスを採用し、遮熱性を高めた。	
LR2 資源・マテリアル	断熱材は、全てノンフロン。	
LR3 敷地外環境	最低限の駐車場を確保し、周辺の交通負荷軽減に配慮した。	
その他		